学校番号	319

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版「現代の世界史」　（山川出版）						
副教材等	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）、世界史重要語句 Check List（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近現代史を教科書・諸資料を活用して考察し、歴史的な見方や考え方を身につける。
・歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史を背景とした世界各国の諸事情を踏まえ、現在の日本と世界のあり方を考える。

２　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
・現代の諸課題を近現代史を中心とする歴史と結びつけ、歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し,その知識を身に付けている。
評価方法	授業への参加度 課題の提出	定期考査 発問と評価 課題の提出	定期考査 発問と評価 課題の提出	定期考査・小テスト 発問と評価 課題の提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史への いざない	・日本語や日本文化の中に見られる諸外国との歴史的関わりに気づかせ，また地理的環境が歴史にあたえる影響を，沖縄を例に考えさせることで，世界史を見る目を養う。	○			○	a: ・日本語や日本文化と諸外国との関わりや，地理的環境が歴史にあたえる影響について，意欲的に考えようとしている。 d: ・日本語や日本文化の中に見られる中国など諸外国の影響や，沖縄の歴史に地理的環境の影響が見られることを理解し，歴史を多面的に考察している。	定期考査・小テスト 発問と評価 課題の提出
	人類の歴史の始まり	・人類の誕生と進化の過程、その中で獲得した文化などについて把握させ,また農耕・牧畜の開始とその意義,それによる社会の変化などについて理解させる。	○		○		a: ・人類の誕生と進化の過程を,道具・言語・埋葬などの文化と関連づけ,また農耕・牧畜の誕生と文明の発展の状況について,意欲的に考えようとしている。 c: ・打製石器や火の使用、埋葬などの精神文化の誕生に関する資料や，農耕・牧畜が文明を誕生させるにいたる資料を収集し，適切に活用している。	
	諸地域世界の特質	・諸地域世界の形成の状況や特質を把握させ、日本の歴史にも目を向けて，歴史的動向を理解させる。	○		○	○	a: 諸地域世界の歴史的特色や文化などを意欲的に学習している。 c: 諸地域世界の宗教・言語・交流などの資料を収集し，適切に活用している。 d: 世界の歴史や，宗教などの文化の多面性や特色を理解している。	定期考査・小テスト 発問と評価 課題の提出

	アジア諸国の繁栄	・モンゴル帝国拡大や明の対外政策,ムスリム商人の活躍などを軸に,大航海時代前夜の世界を理解させる。	○		○		ａ：モンゴル帝国,明,イスラーム世界の展開などによる世界の交流を,意欲的に学習しようとする。 ｃ：地図を適切に用い,モンゴル帝国形成を背景に展開された東西交流を説明できる。	
		・明・清時代の中国の発展と，周辺地域の動向を把握させる。	○			○	ａ：・明・清の歴史の展開や，東南アジアの状況について関心を高め，意欲的に学習しようとする。 ｄ：・明・清時代の中国の繁栄と，朝貢体制の特色や,周辺諸国との関係について理解している。	
		・オスマン帝国・ティムール朝とサファヴィー朝・ムガル帝国の展開について理解させる。	○	○			ａ：オスマン帝国・ティムール朝とサファヴィー朝・ムガル帝国の展開とイスラーム世界の再編について，意欲的に学習している。 ｂ：オスマン帝国・ティムール朝とサファヴィー朝・ムガル帝国などの宗教政策,民族構造などを多面的に考察し，文章にまとめる。	
	世界の一体化とヨーロッパ	・16世紀以降，諸地域世界が新たな展開を始め，世界の一体化へと向かう端緒となったことを理解させる。	○			○	ａ：大航海時代の展開と世界の結びつきや交流に関心を高め，意欲的に学習している。 ｄ：大航海の展開やその影響について，具体的に理解している。	
		・ルネサンス・宗教改革の，ヨーロッパにおける展開と影響を把握させる。	○	○			ａ：ルネサンス・宗教改革がヨーロッパ世界にあたえた影響について関心を高めている。 ｂ：ルネサンスや宗教改革の展開や影響を具体的に考察し，その意義を判断し，文章にまとめる。	

		・17～18世紀,オランダ・フランス・イギリスの商業・軍事上の覇権の掌握の状況や,啓蒙思想を軸に，西ヨーロッパを理解させる。	○		○		ａ：オランダ商業・フランス絶対王政,イギリス革命を軸に,ヨーロッパの歴史の展開に関心を高めている。 ｃ：17～18 世紀におけるオランダ・フランス・イギリスの歴史の展開や啓蒙思想に関する資料を活用している。	
		・16～18世紀の東ヨーロッパを,オーストリア・プロイセン・ロシア帝国を軸に理解させる。	○			○	ａ：オーストリア・プロイセン・ロシアの政治の展開や啓蒙専制について,意欲的に学習しようとする。 ｄ：16～18 世紀の東ヨーロッパ諸国の歴史展開の特徴について,具体的に理解している。	
		・ヨーロッパ諸国の世界進出の状況を把握させ，貿易などを軸とする世界の一体化の状況を理解させる。	○		○		ａ：世界商業の展開の中における,ユーラシアの繁栄・アメリカやアフリカの従属・アジアの変化に関心を高めている。 ｃ：世界商業の状況をあらわしたグラフ等の資料や,地図などを収集し,適切に活用している。	
2学期	近代の欧米社会	・イギリス産業革命の背景・展開・影響について理解させる。	○		○		ａ：産業革命の展開,その影響や社会の変化などについて,意欲的に学習しようとする。 ｃ：産業革命に関する資料を収集し，適切に活用している。	定期考査・小テスト 発問と評価 課題の提出
		・アメリカ独立革命の背景・展開・意義について理解させる。	○			○	ａ：13植民地と本国との経済的対立や,独立宣言の意義に関心を高めている。 ｄ：アメリカ独立革命の意義を,フランス革命とも結びつけ,理解している	

		・フランス革命からナポレオン時代にかけてのフランスの歴史の展開を理解させる。	○			○	a：フランス革命の背景・展開,続くナポレオン時代の状況に関心を高めている。 d：フランス革命の意義を,以後の世界史の展開と関連づけて理解している。	
		・正統主義を軸とするウィーン体制やイギリスの状況に対し，19世紀前半に展開されたさまざまな動きを理解させる。	○	○			a：正統主義やイギリスの台頭，それに対処するために展開された動きがさまざまな形で現れたことに関心を高めている。 b：ブルジョワの成長やナショナリズム・自由主義の台頭などについて考察し，その影響を判断している。	定期考査・小テスト 発問と評価 課題の提出
		・ウィーン体制崩壊後の19世紀後半のヨーロッパ社会の展開を理解させる。	○		○		a：1848年のウィーン体制崩壊後のヨーロッパ社会の再編について,意欲的に学習しようとする。 c：産業社会の拡大や国民国家の確立などの資料を,適切に活用している。	
		・ラテンアメリカ諸国の独立と,合衆国の発展について理解させる。	○			○	a：ラテンアメリカの独立や,合衆国の再編を意欲的に学習している。 d：19世紀における南北アメリカ大陸再編の動きを,ヨーロッパ社会と関連づけて多面的に理解している。	
	ヨーロッパの進出とアジア	・ヨーロッパの進出による世界の一体化が，一方でアジアの従属化や変革をもたらしたことを,地域ごとに理解させる。	○		○		a：オスマン帝国の弱体化を背景に生起した東方問題や,イスラーム世界の再編に関心を高めている。 c：オスマン帝国の弱体化や改革運動,イスラーム世界やヨーロッパの動きに関する資料を活用している。	

		・インド・東南アジアの，ヨーロッパ諸国による植民地化の状況を理解させる。	○			○	a ：インド・東南アジアが植民地化されてゆく過程に関心を高めている。 d ：ヨーロッパ諸国の進出とインド，東南アジアの従属化の状況を多面的に理解している。	
		・列強諸国の中国進出の状況を理解させる。	○			○	a ：列強諸国の中国進出の状況や中国国内の動きを，意欲的に学習している。 d ：列強進出と，東アジアの状況，中国の改革運動などを多面的に理解している。	定期考査・小テスト 発問と評価 課題の提出
		・日本の開国や改革運動の展開，列強の朝鮮や中国への進出について，また中国の形成した朝貢関係が解体する状況について理解する。	○	○			a ：日本の開国とその後の歴史の展開,中国の朝貢関係の解体の状況について意欲的に学習している。 b ：開国後の日本の政策を，富国強兵策と関連づけるとともに,中国の朝貢関係の解体を,列強諸国の進出と関連づけて判断し，文章にまとめる。	
	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義時代の社会的特色を把握させ，アフリカを含め，地球規模で植民地化が進行していったことを理解させる。	○			○	a ：帝国主義時代の特色と世界の植民地化について関心を高め，その矛盾について意欲的に学習している。 d ：・帝国主義時代の欧米諸国の動向やその社会的特色を理解している。 d ：植民地化と植民地の抵抗について理解し，知識を身につけている。	
		・植民地の抵抗運動と列強の対立について理解させる。	○		○		a ：植民地化の動きと，それに対する抵抗運動，植民地化を競う列強の対立について関心を高め，意欲的に学習している。 c ：植民地の抵抗運動と列強の対立に関する地図や風刺画，写真など多種類の資料を収集し，適切に活用している。	

3学期	二つの世界大戦	・ヨーロッパの国際関係を中心に，第一次世界大戦が起きた背景や戦争中におこったロシア革命について理解させる。	○			○	a：第一次世界大戦が人類社会に未曾有の犠牲をもたらしたことに関心を高め，その原因と現状について意欲的に学習している。 d：第一次世界大戦とロシア革命の推移やその影響について理解し，知識を身につけている。	定期考査・小テスト 発問と評価 課題の提出
		・第一次世界大戦によってもたらされた影響と，大戦後の国際秩序の問題点を理解させる。	○		○		a：第一次世界大戦後の国際秩序について関心を高め，その矛盾について意欲的に学習している。 c：ヴェルサイユ体制に関する地図等の資料を適切に活用している。	
		・第一次世界大戦後のアジアの民族運動の高揚を理解させる。	○	○			a：戦間期におけるアジアの人々が，解放へ寄せた期待と，その後の絶望に関心を高めている。 b：アジア諸地域の民族運動がなぜ高揚したか考察し，その特色について判断し，文章にまとめる。	
		・ファシズム台頭の背景と展開を理解させる。	○			○	a：ファシズムの背景や特色について意欲的に学習している。 d：世界恐慌とファシズムの関連と，それぞれの展開を理解している。	
		・第二次世界大戦の背景と展開を把握させ，その意義を理解させる。	○			○	a：第二次世界大戦に主体的な関心を高め，意欲的に学習している。 d：第二次世界大戦の背景や展開について知識を身につけ，その影響や意義について理解している。	
	冷戦の時代	・冷戦構造が形成されていった情勢を把握させ，アジア・アフリカ諸国の台頭や米ソの動揺によって冷戦構造が変容していったことを理解させる。	○		○		a：冷戦構造の形成やその変容に関心を高め，その意義を意欲的に学習している。 c：朝鮮戦争やベトナム戦争，およびアジア・アフリカの台頭に関する資料を収集し，適切に活用している。	定期考査・小テスト 発問と評価 課題の提出
		・米ソの関係を中心に，平和共存と核戦争の危機があったことを理解させる。	○			○	a：20世紀後半の核戦争の危機に関心を高めている。 d：緊張緩和の一方で核開発などの緊張関係が並存していたことを理解し，知識を身につけている。	

		・1960年代以降の多極化と緊張緩和について理解させる。	○			○	a ：多極化と緊張緩和の動きやその背景について意欲的に学習している。 d ：多極化と第三世界の諸地域の動向について地域ごとに整理して理解し，知識を身につけている。	
		・石油危機後の社会の変化を理解させ，国際関係が大きく変化していったことを把握させる。	○		○		a ：石油危機後の社会の変化について関心を高め，意欲的に学習している。 c ：石油危機やその後の世界経済に関する資料を収集し，適切に活用している。	
		・社会主義諸国の経済の停滞などを背景に，冷戦が終結し，世界にその影響が波及したことを理解させる。	○			○	a ：冷戦終結の背景とその影響について意欲的に学習している。 d ：冷戦終結後の国際関係についての知識を身につけている。	
		・20世紀後半の日本について，冷戦と関連づけて理解させる。	○	○			a ：20世紀後半の日本について関心を高め，自らのことと関連づけて意欲的に学習している。 b ：20世紀後半の日本について，冷戦の影響を考察し，文章にまとめる。	
	グローバル化する世界	・冷戦後のグローバル化の進展や環境問題について理解させる。	○	○			a ：グローバル化の進展について意欲的に学習している。 b ：グローバル化の進展が経済領域で先行したことを理解し，人びとの生活にあたえる影響を判断し，文章にまとめる。	
		・アメリカの動向や欧州統合，新興経済諸国について理解させる。	○		○		a ：諸地域の再編成と固有の問題について関心をもっている。 c ：現代の諸地域の問題に関する資料を収集し，適切に活用している。	
		・現代日本の現状を理解させ，課題を考えさせる。	○	○			a ：現代日本を，歴史的な観点から見ることができている。 b ：現代日本の政治的な混乱や経済の停滞につい	

							て，世界史の中で考察し，文章にまとめる。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。